「清算貸借対照表」の活用法

■いつ作ったら効果的か

・決算申告の時期に作成し、会計事務所でつくる税務申告書と対比する。

・資金繰りが苦しくなったと感じたときに、短時間で作り上げる。

■誰が作るのが適切か

・社長と家族の共同作業が一番効果的です。（初めは職員の方の支援で始めては・・・）

■どの様に纏めたらいいか

・毎年の数字を時系列的に推移が見られるようにして、グラフに纏めておくとよい。

・整理していて確認できない資料は必ずそのときに揃えてきちんと保存しておく。

■どのように活用できますか

・会社の成長過程と万一の時の耐力を、客観的に判断することが出来ます。

・問題点や改善すべき点が浮き彫りになってきますので、具体的な問題解決策がみつかります。

・経営危機に陥ったとき、専門家に提示すると問題解決が早くできます。

・ディスクローズ経営への導入に・・・

・会社のお葬式シュミレーションとして活用できます。

・弁護士が、会社整理の時には裁判所への提出書類として必ず作成する書類です。